

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



人生

有道に歸するも

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

人 生

有 道 に 歸 す る も



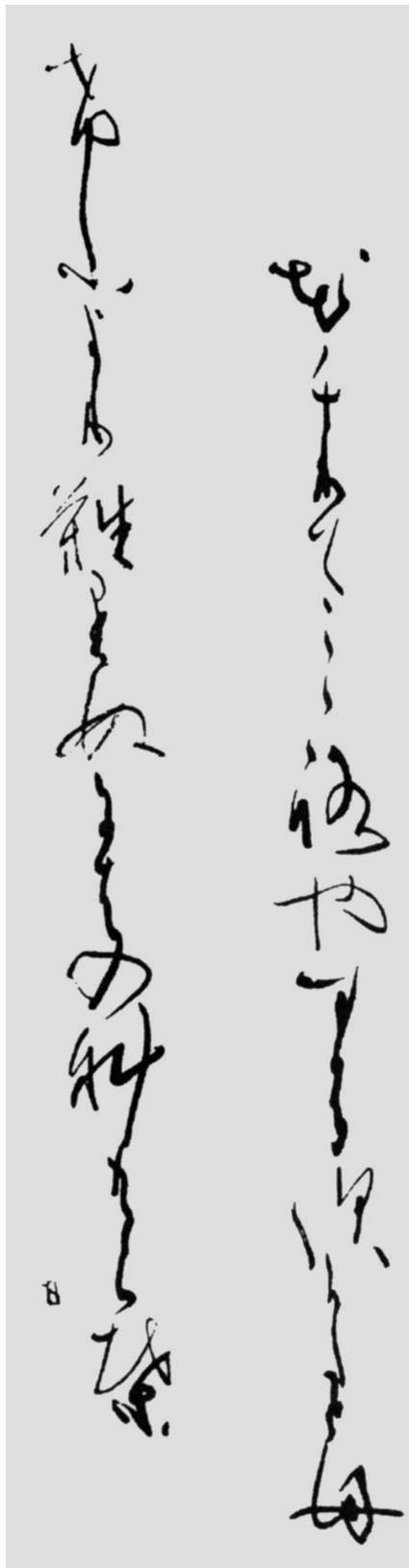
高 木 聖 雨 先 生

条幅かな

条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）



花
千
利
路
可
須
母
利
爾
者
斜
九
葉
（大隈言道）※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

集字聖教序（東晋・王羲之）

被黔黎斂衽而朝萬國恩加朽骨石室歸貝

浮乘清鄉先生

被黔黎斂衽而朝萬國恩
加朽骨石室歸貝

道因法師碑（唐・歐陽通） 遷嗟分岸永泣摧梁龍留舊影室泛殘香書（17字）

舊影室泛殘香書
遷嗟分岸永泣摧梁龍留

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（4月10日締切）

半紙規定(二)

患
一
人
之

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔一級以下〕楷書

一人の慮に資る。身を遺れて

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

聖主、群僚に諮詢せしに、
一人之慮遣

半紙規定(一)

羣
衆
諫
言
取

曹全碑（漢・作者不詳）

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]
(4月10日締切)

条幅参考手本

開春理常業歲功聊可覩晨

出肆微勤日入負禾還

曲三

長沢 豊雲先生

開春理常業
歲功聊可覩 晨出肆微勤
日入負禾還

開春常業を理め
歲功聊か覩る可し
晨に出でて微勤を肆くし
日入れば禾を負うて還る

下村紫雲先生

獨倚孤松立偶爾復移時
茫茫滿天下與誰共同歸
清風下興誰知向
茅屋中

獨り孤松に倚つて立ち
偶爾また時を移す　茫茫たる満天下　たれとともにか同じく帰せん

条幅参考手本

これを知る者はこれを好む者に如かずこれを好む者はこれを楽しむ者に如かず（論語より）

好む者はこれを樂む者に如かず
論語より
心と
これと知る者はこれを好む者に如かず
これと

石田輝仙先生

南國有佳人 容華若桃李 朝遊江北岸 夕宿瀟湘沚
南国に佳人有り 容華桃李の若し 朝に江北の岸に遊び 夕に瀟湘の沚に宿す

遊江北岸夕宿瀟湘沚
南國有佳人容華若桃李朝
久義書

細野江華先生

半紙かな（初段以上）

いまさくらさと見えてうすぐもり春に霞める世のけしきかな
今斜九枝咲きぬと見えてうすぐもり春に霞める世のけしきかな
理耳に霞める世のけしきかな
免介支可那
(式子内親王)

支部名 段姓号 (鉛筆可)

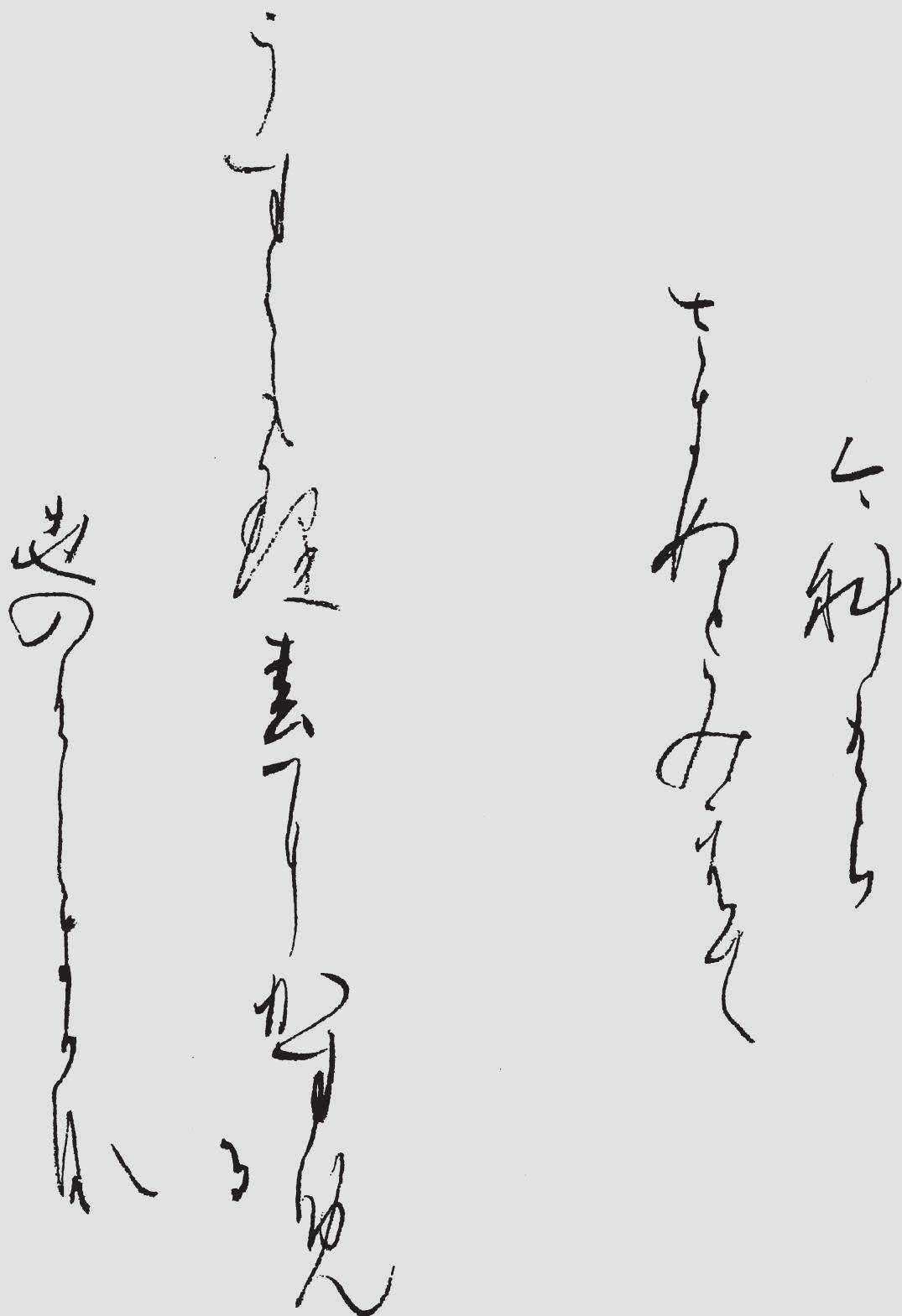
段
四

姓

号
(鉛筆可)

*支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
*ちらし文字変換は自由

浮乘清鄉先生



(4月10日締切)

半紙かな（1級～8級）

すみれつめばちひさき春のこゝろかな
三 免 千 比 種 者
路 可 那
(加藤暁台)

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

*支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
*ちらし文字変換は自由



すみれつめばちひさき春のこゝろかな

小林智峰先生

(4月10日締切)

実用文（準三段以上）

大井岳陵先生

書とは、字句にそれをまと人の
志を盛りた表現様式があつたえ
られたゆのだと、いふことをうけ
てす。これを運びいわば、志が表現と
導き出すのだとよいえます。

支那

毛

雄

モ

〈書風任意〉書とは、字句にそれを書く人の志を盛った表現様式があつたえられたものだということになるわけです。これを逆にいえば、志が表現を導き出すのだともいえます。

(4月10日締切)

実用文（二段以下）

鈴木翡翠先生

にび色の空のもとほど近く海の
匂ひ江洋として川への引き潮
どゑと家鴨が一羽流れてゆく
右を眺め左を眺め

文部省 段級 稽古

〈書風任意〉にび色の空のもとほど近く海の匂ひ江洋とした川への引き潮
どゑを家鴨が一羽流れてゆく右を眺め左を眺め

三好達治詩 野鴨より

（4月10日締切）

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より

P49

蜉蝣羽化豆蔓錯綜黑雲

蝶游羽化豆蔓錯綜黑雲

羽化豆蔓錯綜黑雲

豆蔓錯綜黑雲

錯綜黑雲

黑雲

好游羽化至重錦簇黑雲
翠柏羽化至重錦簇黑雲
翠柏羽化至重錦簇黑雲
翠柏羽化至重錦簇黑雲
翠柏羽化至重錦簇黑雲

支部

段級

姓

号

※一級～八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

豆づ蜉ふ

菖蒲の研究

豆 う

つすばかげろう。

錯綜

いりまじつてからみあう。

名前は必ず楷書
17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

(4月10日締切)

硬筆（初段以上）

春の歩みは遅々としてじれった
いもので寒暖も行ったり来たり。

行きつ戻りつを繰り返しながら
気象の大局は大潮の如く押し
寄せ本調子の春にならなかった。

支那名

段

姓
号

春の歩みは遅々としてじれったいもので寒暖も行ったり来たり、行きつ戻りつを繰り返しながら気象の大局は大潮の如く押し寄せ本調子の春になるのだ。

青 柳 江 雲 先 生

(4月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部 級姓号

伝統的な言葉「忖度」とは、他人の
気持ちを推し量ることです。

本院定型用紙・たて半分に書く

硬筆（1級～3級）

伝統的な言葉「忖度」とは、他人の
気持ちを推し量ることです。

齋藤翡翠流先生

齋藤翡翠流先生

新中2用

支部名

段級

名

前

い　春　と　呼
雨

渡邊南嶠先生

新中3用

支部名

段級

名

前

校　花　咲　く

新小6用

支部名

段級

名前

の学
校庭

渡邊南嶂先生

新中1用

支部名

段級

名前

喜び入学の

— 17 —

渡邊南嶂先生

(4月10日締切)

新小4用

支部名

段級

美
花

名前

大越三宗先生

新小5用

支部名

段級

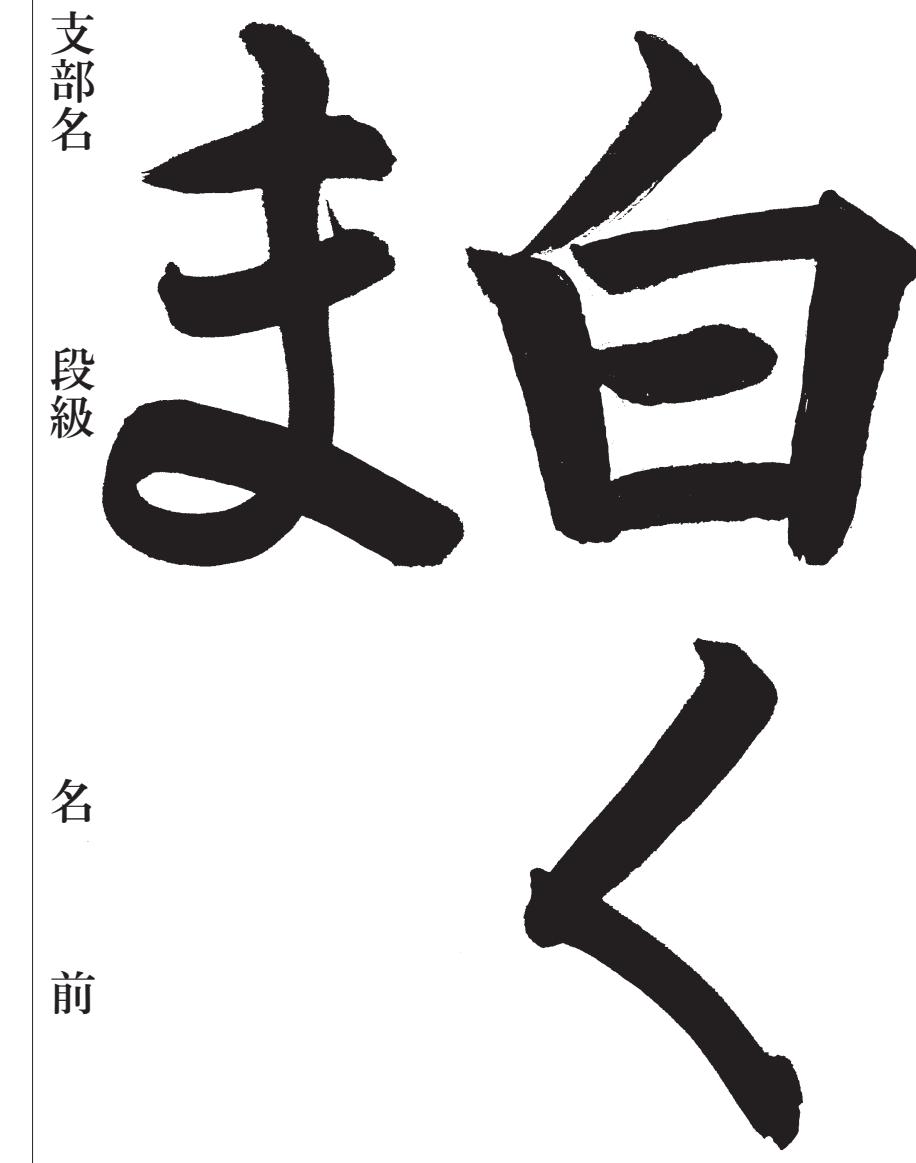
晴
空
れ

名前

新小2用



新小3用



(4月10日締切)

新中1

美しい字も毛筆も、
しさの追求が大切。
。 線の

新中2

健 康 は、
れ る 最 高 の
。 プ レ ゼ
ン ト。 贈

新中3

桜 が 咲く 日 を 線で
た も の を 桜 前 線 と 呼
ぶ。

中1～中3 青 柳 江 雲 先 生

新小1・幼年用

支部名

段級

名前



新小1・幼年

さくらのつぼみがふく
らみました。

新小2

白いスイセンがさい
てもきれいだ。

新小3

春になつたので風があ
たたかくなつてきだ。

新小4

春になり、うぐいすが
庭で鳴きはじめます。

新小5

雪が残る早春の山を絵
にかけてみました。

新小6

毎年、春になると家族
で花見に行きました。

小1～小3

齊 藤 翡 流

先生

小4～小6

鈴 木 蕙 翠

先生

(4月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

庭の池

花かおる

主幹 菅野翠濤

中学部かな課題

支部名

段級

名 前

高やまの
上にえがくや春の
月

読み = 高浪の上にえがくや春の月
季語 = 「春の月」 北斎の絵にあるような高浪の上に、春の月が黄色く描かれて、この絵は
完成したというのである。単純な構図ながら大景がとらえられている句。

(4月10日締切)

参考手本

*これは規定課題ではありません。

四望春雲を生ず
しほうしゅんうんを しょう
ず



成瀬映山先生